

当院では、下記の臨床研究を実施しています。研究概要は以下のとおりです。

【研究課題名】

透視下腹腔神経叢ブロック後のオピオイド減量によるオピオイド退薬症状出現の危険因子の検討

【目的】

透視下腹腔神経叢ブロックは難治性がん性疼痛の疼痛緩和に有効な手段であり、それまで使用していたオピオイドの減量が期待できます。しかし、オピオイドを急激に減量するとオピオイド退薬症状が出現することも知られています。この研究は、どのくらいのペースでオピオイドを減量していけば、退薬症状が出現しなかったかを明らかにすることを目的としています。

【対象】

2005年4月～2020年10月までに当院において透視下腹腔神経叢ブロックを受けた方

【方法】

診療記録より当院研究担当医師が情報を収集し、調査票へ入力します。入力したデータは研究事務局（横浜市立大学附属市民総合医療センター 麻酔科学教室）へ手渡しで提供し、保管・解析されます。この研究成果は学会や学術雑誌などで発表することがあります。

【個人情報の取り扱い】

収集した情報は匿名化するため、氏名などの特定の個人を識別できるような情報が外部に漏れることはありません。

【利用する試料・情報】

診療記録（年齢、性別、身長、体重、診断名、治療内容、痛みの程度、鎮痛薬の投与状況、併存疾患、血液検査結果、画像検査所見、神経叢ブロック薬剤使用量、オピオイド退薬症状、神経叢ブロックの合併症等）

【研究期間】

倫理委員会の承認が得られてから2021年12月31日まで

【研究代表者】

横浜市立大学附属市民総合医療センター 麻酔科 柳泉 亮太

【共同研究機関】

横浜市立大学附属病院、横浜市立市民病院

【当院の研究責任者】

緩和ケア内科 倉持 智子

【連絡先】

横浜市立市民病院 〒221-0855 横浜市神奈川区三ツ沢西町 1-1
電話 045-316-4580（病院代表） 緩和ケア内科 倉持 智子

この研究の対象となる方またはその代理の方で本研究への参加を希望されない方は、上記の連絡先へお申し出ください。その場合でも、対象となる方に不利益が生じることはありません。また、この研究の対象となる方またはその代理の方は、本研究の詳細（研究計画書及び研究方法に関する資料）を他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で入手・閲覧することができますので、ご希望の方はお申し出ください。